

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和06年11月28日	
計画の名称	医療、教育、行政機能が集約した、安全で安心して暮らせるまちづくり														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		○		
交付対象	大村市														
計画の目標	【大目標】住環境の整ったコンパクトなまちづくり 目標1：行政、医療、教育機能の充実と強化による生活環境の向上 目標2：安全安心な住環境の整備														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,520	A	3,516	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.11	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H25当初)		(H31末)
1	・ 病院外来患者数（医療機能の充実と強化による外来患者数の増加数を把握する。）			
	病院外来患者数	80154人/年	人/年	83670人/年
	現在と建替え後の外来患者数の比較			
2	・ 健康講座（予防医療）受講者数（医療機能の充実と強化の一環である予防医療に対する市民意識の向上を把握する。）			
	健康講座（予防医療）受講者数	293人/年	人/年	550人/年
	現在と建替え後の健康講座年間受講者数の比較			
3	・ 西大村地区対象人口（住環境の向上による地区内流入人口の増加数を把握する。）			
	西大村地区対象人口	10684人	人	11070人
	居住誘導区域内人口の比較			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																								
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況					
		一体的に実施することにより期待される効果																						
		備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	大村市	直接	大村市	－	－	西大村地区都市再生整備 計画事業	市民病院整備、道路整備等 A=104.8ha	大村市	■	■	■	■	■	3,516		－					
											小計						3,516							
											合計						3,516							

C 効果促進事業																								
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況					
		H27																						
		H28																						
都市再生整備計画事業	C10-001	一体的に実施することにより期待される効果																						
		備考																						
		都市再生	一般	大村市	直接	大村市	－	－	事後評価	事後評価業務委託	大村市					■	4		－					
		事業効果の発現状況や指標の最終目標値の実現状況等を確認できる。																						
											小計						4							
											合計						4							

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大村市都市再生整備計画事業評価委員会	令和3年3月
	公表の方法
	事後評価シートを市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【指標1 病院外来者数】 病院の建替えにより医療機能を集約し、効率的な病院運営を行うとともに、今後の少子高齢化社会に対応するための地域医療機関としての役割が向上したが、平成28年度以降に厚生労働省が、「医療機関の機能分担」を推進していることもあり、目標を達成することができなかった。 平成30年度から令和元年度にかけては、増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大により今後は当面減少傾向となることが予想される。 【指標2 健康講座(予防医療)受講者数】 ふれあい講座は、毎月1回程度開催しており、新病院の運営を開始した翌年度の平成30年度は、従前値を上回ったが、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、目標値を達成することができなかった。 また、当初の計画において、目標値の設定を高く設定しすぎたことが考えられる。 【指標3 西大村地区対象人口】 道路の歩道整備やバリアフリー化により、住民が安全に暮らせるまちづくりに寄与している。 また、病院の建替えをはじめ、ふれあいセンターの整備、広場整備やこども園の開設など都市機能を向上させ、住環境の向上に寄与していることから、人口の増加につながったと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	【追加指標】 病院の建替えにより医療機能を集約し、効率的な病院運営を行うとともに、今後の少子高齢化社会に対応するための地域医療の役割を向上させたことなどが、入院患者数の増加に繋がったと考えられる。
○特記事項（今後の方針等）	
【指標1 病院外来者数】 平成28年度以降に厚生労働省が、「医療機関の機能分担」を推進していることもあるが、「開かれた病院」として、市内外からの外来患者の受け入れ増加に努める必要がある。 【指標2 健康講座(予防医療)受講者数】 講座内容の工夫や講座、イベントの開催数を増やすなど、より開かれた病院を目指す必要がある。 【指標3 西大村地区対象人口】 更なる人口の増加や住環境の向上を図るため、西大村地区ふれあいセンター（中地区公民館）での活動を充実させ、地域のつながりを向上させるなどの施策等を検討する。 【追加指標】 住民が健康面で、安心して生活ができるよう地域住民へのPRなど地域医療の役割を向上させる。また、救急患者の受け入れについても、消防局(救急輸送)と連携をとり、救急医療体制を充実させる。 【その他】 交付事業対象である基幹事業の内容で、区域面積は正しくは、A=69.3haである。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	83,670		
	最 終 目標値	83670人/年	病院の建替えにより医療機能を集約し、効率的な病院運営を行うとともに、今後の少子高齢化社会に対応するための地域医療機関としての役割が向上したが、平成28年度以降に厚生労働省が、「医療機関の役割分担」を推進していることもあり、目標値を達成することができなかった。
	最 終 実績値	79361人/年	
2	550		
	最 終 目標値	550人/年	ふれあい講座は、毎月1回程度開催しており、新病院の運営を開始した翌年度の平成30年度は、従前値を上回ったが、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、目標値を達成することができなかった。
	最 終 実績値	239人/年	
3	11,070		
	最 終 目標値	11070人	道路の歩道の整備やバリアフリー化により、住民が安全に暮せるまちづくりに寄与している。また、病院の建替えをはじめ、西大村地区ふれあいセンター（中地区公民館）の整備、公園整備やこども園の開設など都市機能を向上させ、住環境の向上に寄与していることから、人口の増加につながったと考えられる。
	最 終 実績値	11082人	